

長生村人口ビジョン・総合戦略 概要版



平成28年3月
千葉県長生村

はじめに

我が国の人口は、2008年をピークに減少局面に入っており、これに時を同じくして、本村の人口も減少に転じています。こうした中、急速に進む少子高齢化と人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を取り戻す「地方創生」を実現するには、長生村の「強み」を生かし、住民、企業及び各種団体が一丸となって取組みを進める必要があります。



長生村は、太平洋の黒潮による影響を受けて、年間を通して温暖な気候に恵まれています。また、村内南側を太平洋に注ぐ一宮川によって形成された沖積平野に位置することから、山や丘陵はなく平坦な地形となっています。こうした気候条件と地形を生かし、稲作・野菜栽培・酪農といった農業、地引網等による沿岸漁業及び白砂青松の一松海岸一帯に海水浴場等の観光業が発展してきました。一方、商工業としては天然ガス等の鉱物資源を活用した鉱業開発、造成した西部工業団地における企業立地及び国道128号沿いに商業施設の立地が進み、村内の生産販売額も伸び、地域雇用の確保につながっています。これらを最大限に活用し、長生村の「強み」に変えることで、「地方創生」の実現が可能であると考えます。

このたび、本村では、まち・ひと・しごと創生法（平成26年11月28日法律第136号）に基づき、本村人口の現状と将来展望を示す「長生村人口ビジョン」と、今後5年間の目標や施策の方針をまとめた「長生村総合戦略」を策定いたしました。

今後は、この人口ビジョン及び総合戦略に基づき、本村の「強み」を生かして、若い世代の希望がかなえられる輝かしい将来に向け、「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」と思える村づくりを住民の皆様とともに推進してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見ご提言等をいただきました住民の皆様をはじめ、村議会、村まちづくり推進委員会の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

平成28年3月

長生村長 小高陽一

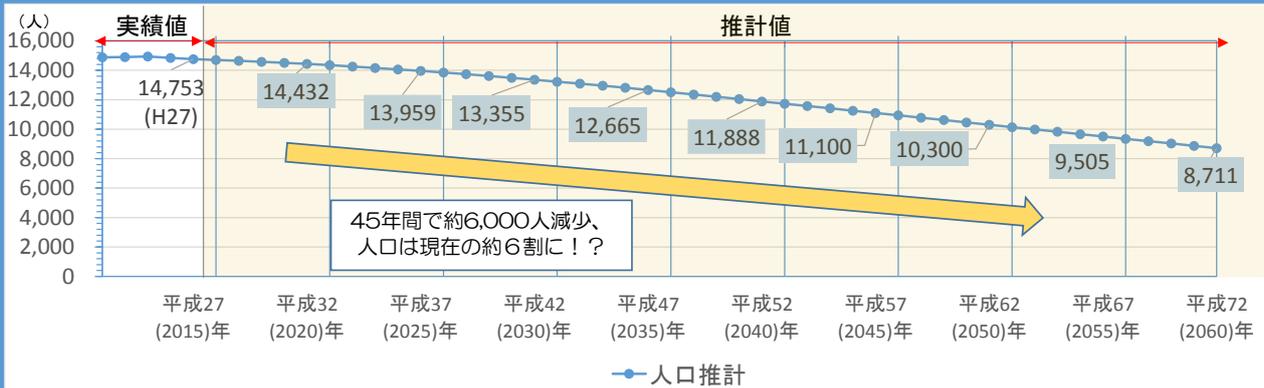
長生村人口ビジョン <<概要版>>

長生村のこれからに関わる、大切な計画書です。
皆さんで読んで、考え、これからの長生村をともにつくっていきましょう。

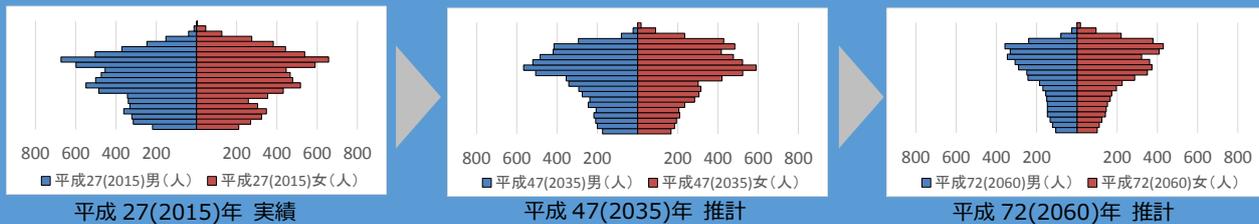


長生村はこれからどうなるの？

総人口の推移



人口ピラミッドの推移



※下段から順に0~4歳、5~9歳、…と5歳階級ごとの人口を表しています。最上段は100歳以上の人口です。



グラフを見ると、ずいぶん人口が減るんだね・・・？

その上、若い人の割合がますます減って、高齢者の割合がさらに増えていくんだよ。



そうするとどうなるの？

まず税金が大きく減るよね。その一方で、医療・介護等に必要なお金は大きく増えていくことになる。そうすると、みんなの生活に必要な社会保障が維持できなくなるかもしれないよね。



なるほど・・・。村はこれから大丈夫なのかな・・・？



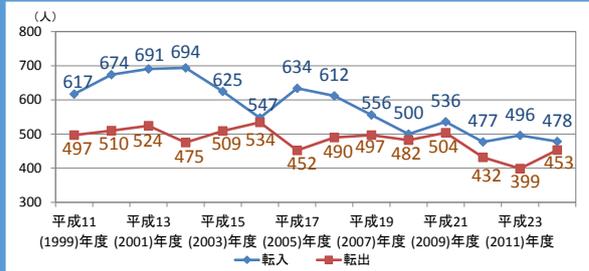
でも、どうしてそんなに人が減ってしまうんだろう？

出生・死亡数の推移



出典：住民基本台帳より

転入・転出数の推移



出典：住民基本台帳より

要因は大きく分けて二つあるよ。一つは、亡くなる方の数が増えていて、産まれる子どもの数が少なくなっているんだ。



よくニュースでも言われているよね～。確かに、子どもを見かける回数が減った気がする。。



もう一つ、長生村はこれまで引っ越してくる人の数（転入数）の方が村から引っ越していく人の数（転出数）よりも多かったんだけど、近年ではほぼ同じ数になっているんだ。今後は転出数の方が多くなると見込まれているよ。



なるほどね。これからは、安心して子どもを産み育てられる、住み続けたいような村にしていかないといけないってことなのかな。



そのための将来の目指すべき将来の姿は以下のとおりです！

『未来へつなぐ健康で平和な村：長生』

この将来の姿を実現するために、目指すべき将来の方向と基本目標を以下のとおりとします。

目指すべき将来の方向

子どもの数の確保

村の良さを活かした帰ってきたいまちづくり



基本目標

基本目標Ⅰ「働く：雇用」

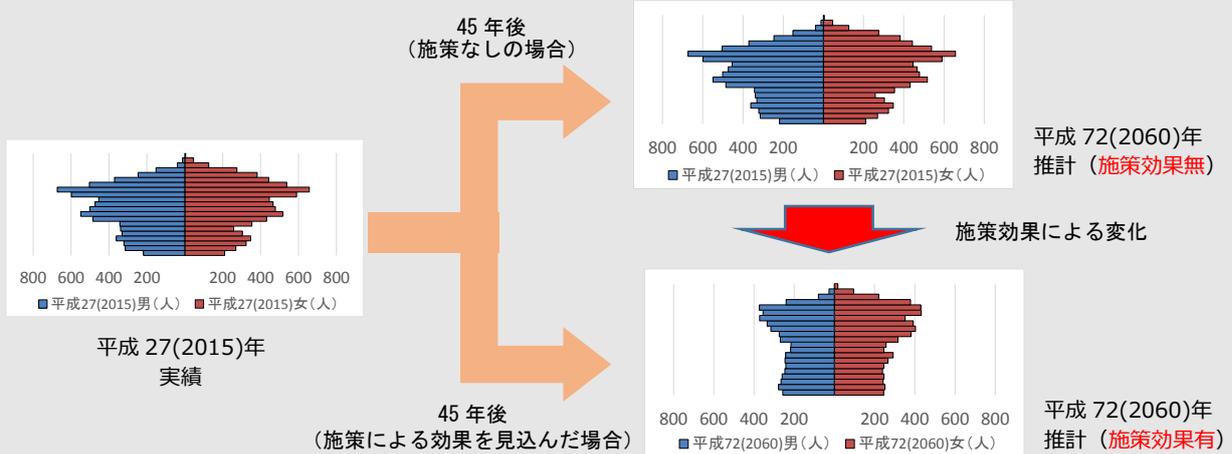
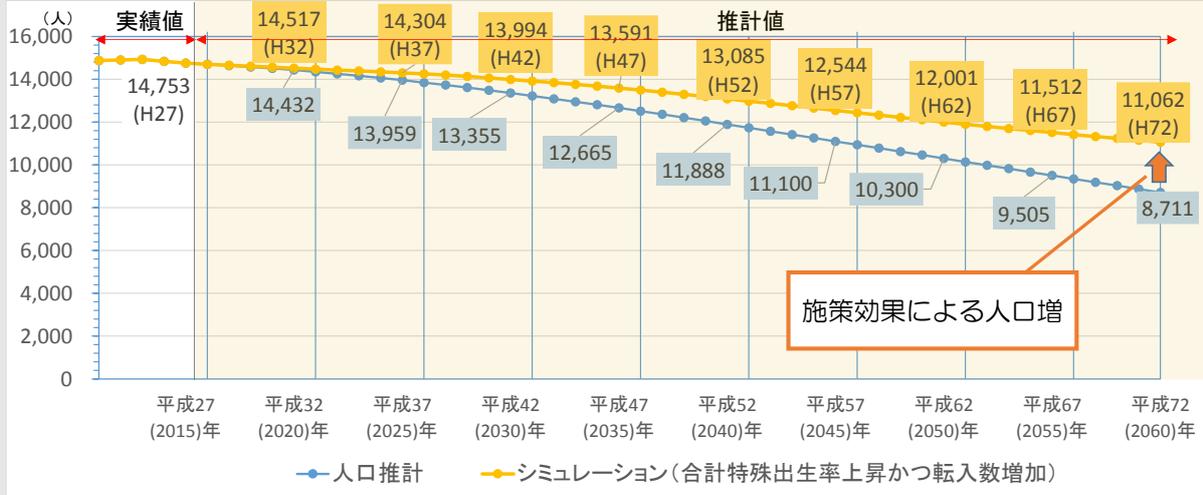
基本目標Ⅱ「人々が集う」

基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育て」

基本目標Ⅳ「住む魅力のあるまちづくり」

子どもを産む人が増えて、Uターンなど引っ越してくる人が増えると、人口減少は緩やかになります。

シミュレーション結果：人口ピラミッドの推移



※下段から順に 0~4 歳、5~9 歳、…と 5 歳階級ごとの人口を表しています。最上段は 100 歳以上の人口です。

将来目標人口は、総人口だけでなく年齢バランスも考慮するものとし、2060 年に人口約 1 万 1 千人を維持する。

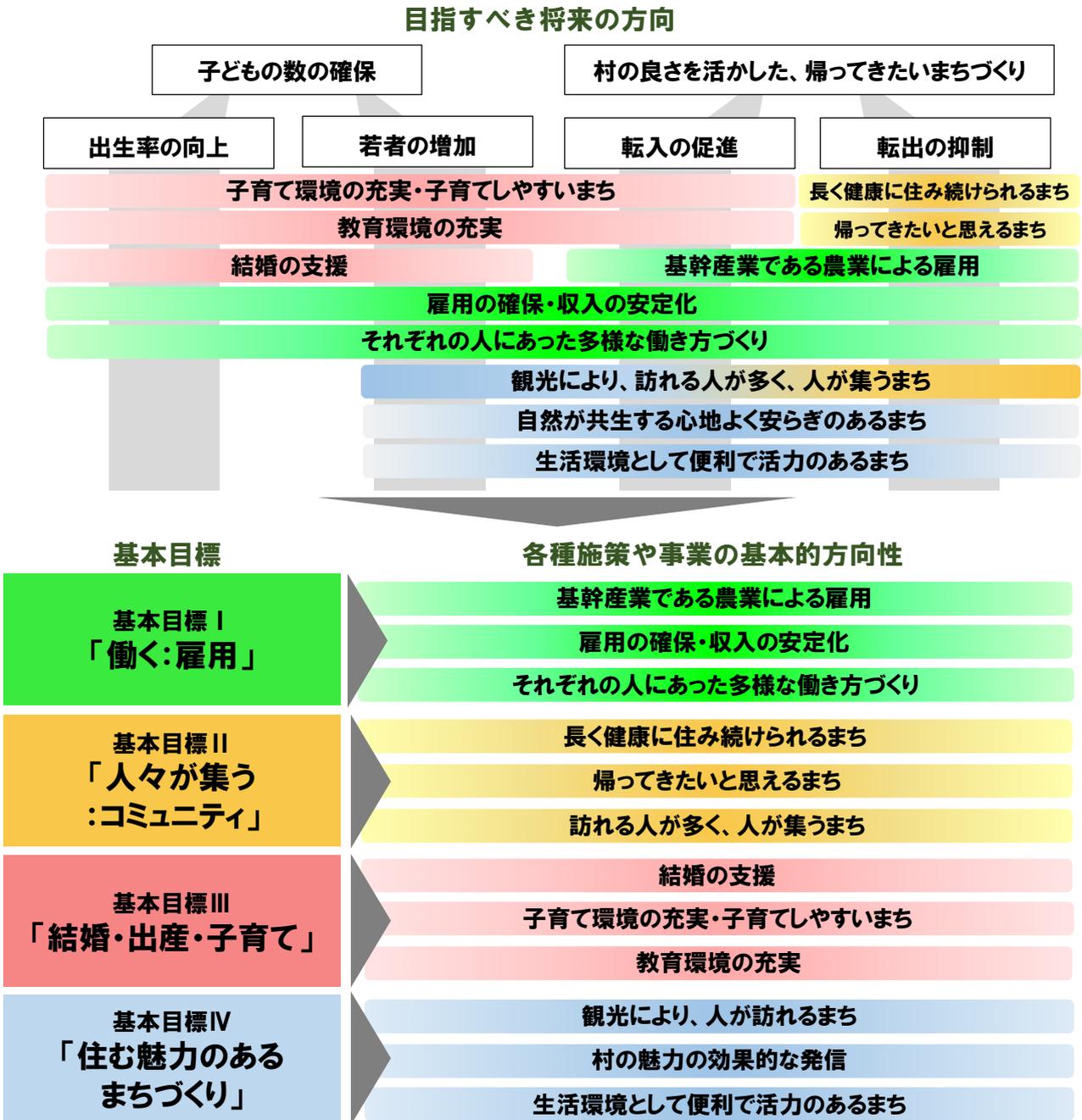


これが実現すれば、子どもや若い人が増えて村は将来もしっかりやっていけそうだね。でも、どうやってそれを実現するんだろう？

それを実現するための計画が「総合戦略」です！

長生村総合戦略 <<概要版>>

目指すべき将来の姿、そして将来の方向を達成するための総合戦略の基本目標と各種施策の位置づけを、以下のように整理しています。



うわ～、いろんなことをしていけないといけないんだね。

『子どもの数の確保』と『村の良さを活かした、帰ってきたいまちづくり』の実現のためにいろいろな施策があるけれど、それらを「働く：雇用」「人々が集う：コミュニティ」「結婚・出産・子育て」「住む魅力のあるまちづくり」の4つの基本目標にまとめているんだよ。



長生村が抱える課題や強みなどの特徴をもとに、4つの基本目標ごとに力をいれて取り組んでいくプロジェクトを設定しているよ。



なるほど。どんなことに力を入れていけるかがわかるね。

基本目標Ⅰ「働く:雇用」

基幹産業である農業による雇用

雇用の確保・収入の安定化

それぞれの人にあった多様な働き方づくり

①長生の良さを創る農業振興プロジェクト

②働きたいという要望に応える
商工業支援プロジェクト

基本目標Ⅱ「人々が集う:コミュニティ」

長く健康に住み続けられるまち

帰ってきたいと思えるまち

訪れる人が多く、人が集うまち

①長生（ながいき）定住促進プロジェクト

②縁を活かしたUターン促進プロジェクト

基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育て」

結婚の支援

子育て環境の充実・子育てしやすいまち

教育環境の充実

①MURA来ん（村婚）プロジェクト

②長生スタイルの出産・子育てプロジェクト

基本目標Ⅳ「住む魅力のあるまちづくり」

観光により、人が訪れるまち

村の魅力の効果的な発信

生活環境として便利で活力のあるまち

①長生の魅力を発信する
観光振興プロジェクト

②八積駅を中心とした持続可能な
まちづくりプロジェクト

次のページからは、それぞれの基本目標ごとに取り組むプロジェクトの内容を紹介していくよ。



基本目標Ⅰ 「働く：雇用」

数値目標

村内事業所従業者※1

4,147人
(H24)



4,600人
(H31)

※1:平成24年(2月1日時点)経済センサス活動調査より



長生村は好きだけれど…仕事が無ければいくら好きでも住めないよ。

そうだよね…。そのために、特に基幹産業である農業を中心に、雇用の確保、収入の安定化、多様な働き方づくりの支援などを行っていくよ。



どんなことをするの？

① 長生の良さを創る農業振興プロジェクト

	H26	H31
村内の水稲作付面積の維持※1	681ha	681ha
遊休農地面積※2	31ha	25ha

※1:平成25～26年千葉農林水産統計年報より ※2:平成26年農林水産省荒廃農地調査より



(1) 新たな長生村農業の振興

安全・安心はもちろん、付加価値の高い農産物生産に向けた「ながいきブランド化」を進めます。また、新規就農者への支援を行い、第一次産業の安定的な経営を支援します。

(2) 遊休農地の有効活用

農地の利用集積や農地情報の提供を図るとともに、観光向けの体験型農地として活用するなど、遊休農地の有効活用を進め、荒廃農地化を防止します。

(3) 本村の特徴を活かした農業の推進

大規模集約化や「ながいき」ブランド食品づくりなど、本村の特性を活かした農業を推進します。

② 働きたいという要望に応える商工業支援プロジェクト

	H27(上)/H24(下)	H31
「雇用促進」分野における住民満足度※1	7.0%	10.0%
村内事業所数の増加※2	433事業所	480事業所

※1:総合計画における住民アンケート調査より ※2:平成24年(2月1日時点)経済センサス活動調査より



(1) 商工業の振興

既存産業の振興と新たな企業誘致の両面において支援を実施し、住民の働く場所を確保します。

(2) 多様な働き手に活躍の場を創る次世代型雇用創出事業

子育てをしながら働く女性や、定年を超えて働き続ける方など、多様な働き手に活躍の場を創る次世代型の雇用創出事業に取り組みます。

基本目標Ⅱ 「人が集う：コミュニティ」	数値目標 人口社会増減数 (転入数－転出数)の維持※2 <small>※2:平成26年度住民基本台帳より</small>	+4人 (H26)		+15人 (H31)
--------------------------------------	--	--------------	---	---------------



これは何を目標にしているの？

仕事をつくることも大事だけど、同時に村の住みやすさも大事だよ。住みやすさって便利さだけじゃないと思うんだ。横長の原風景の残る住み心地の良さ、開かれたコミュニティ、こういった長生村の魅力も含めて、もっと強化するし、内外に情報発信していくよ。
 これがのちのち、転入の増加や若者のUターンの増加などにつながっているんだ。



どんなことをするの？

① 長生(ながいき)定住促進プロジェクト

	H24	→	H31
65歳の平均自立期間※1	18.7年		21.0年

※1:平均自立期間とは、日常生活動作が自立しており、介護を必要としない期間
 (千葉県HP健康情報ナビ最新データより)



(1) 長生(ながいき)生活プロジェクト
 長生村の特長であるスローライフ、地場産の長生(ながいき)野菜、開かれたコミュニティ、健康づくり施策のある環境に加え、高齢になっても元気で安心して暮らせるよう、各種施策を実施します。

② 縁を活かしたUターン促進プロジェクト

	H27	→	H31
Uターン転入者数の増加※1	42人		増加
若者世代のUターン希望率向上※2	38.1%		50.0%

※1:転入に関するアンケート調査より ※2:若者世代アンケート調査より ※3:調査期間は平成27年8月～12月



(1) 若者のUターン促進
 住民は長生村のことを好意的に捉えている方が多く、進学・卒業後に再び住みたいと考えている方が多いため、これらの思いを大切に継承し、長生で生まれ育ったという「縁」を活かした定住者を増やすための取組みを行います。

基本目標Ⅲ 「結婚・子育て」	数値目標	1.13 合計特殊出生率の向上※3 (H25)		1.55 (H31)
	<small>※3:平成26年人口動態統計より</small>			

 結婚の平均年齢があがったり、子どもの数が減って、日本の人口が減ってきていることが問題になっているよね。

そうだね。村としては、「結婚したいのにできない」「子どもを産みたいのに産めない」という人をできるだけ減らすために、若い人たちが希望通りに結婚、出産、子育てができる環境をつくりたいと考えているよ。
よく街コンなんてあるけれど、長生村ではこれから農業と街コンを組み合わせた、「MURA来ん」(村婚)を開催していくよ。



どんなことをするの？

① MURA来ん(村婚)プロジェクト

	H26		H31
「MURA来ん」の参加者数 村内における婚姻数※1	実施前		10人
	49件		55件



※1:平成26年千葉県衛生統計年報(人口動態調査)より

(1) 若者の出会いの場の提供
 社会福祉協議会において実施している結婚相談事業をさらに強化し、田植え、稲刈り等の長生ならではの要素を取り込んだ婚活イベント「MURA来ん」(村婚)を実施します。

② 長生スタイルの出産・子育てプロジェクト

	H25		H31
30～34歳における 合計特殊出生率の向上※1	0.316		0.480



※1:平成26年千葉県衛生統計年報(人口動態調査)より

(1) 安心して出産できる体制づくり
 長生郡市において課題となっている産科医療や小児医療などの広域医療体制の検討や、これまでも取り組んできた各種相談事業や子ども医療費助成、子育て世代包括支援センターによる妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的支援の実施などに取り組みます。

(2) 子どもを育てたくなる長生教育プロジェクト
 「幼児教育の充実」へのニーズに対応するとともに、水田や緑、海が広がる自然豊かな環境や、地場産の食材といった資源を活かした長生ならではの教育として、保育所・小学校・中学校の「縦の連携」と家庭・保育所・学校・地域の「横の連携」により、「自立」できる子どもを育てることを目標とした、本村で子どもを育てたくなる長生教育プロジェクトに取り組みます。

基本目標Ⅳ

「住む魅力のあるまちづくり」

数値目標

「これからも長生村に住み続けたい」と思う人の割合※4

78.8%
(H27)



90.0%
(H31)

※4: 総合計画におけるアンケート調査より



仕事や住みやすさ、結婚・出産・子育て支援などを整えるのと同時に、村で育った人が「帰って来たい」と思えるように、八積駅を中心として村の魅力をつくるための基盤を整えていくよ。

友達を連れてきていろいろ案内もできるね。とっても楽しみ！



どんなことをするの？

① 長生の魅力を発信する観光振興プロジェクト

	H25	H31
本村における 観光入込客数(延べ人数)の増加※1	207,415人	230,000人

※1: 平成25年千葉県観光入込調査報告書より



(1) 「長生（ながいき）体験」のできる観光創造事業

ITを活用した情報発信や長生地域うまいもの決定戦：C1グランプリなどのイベントの充実、官学民連携による地域ブランド商品の開発などの広報活動を実施するとともに、空き家等を活用したシェアハウス等整備と農業体験、収穫した野菜をその場で調理して食べる地産地消事業や砂浜さんぽなど、長生（ながいき）生活の体験を行うことのできる短期滞在型観光事業を実施します。

② 八積駅を中心とした持続可能なまちづくりプロジェクト

	H26	H31
八積駅乗客数※1	814人	900人

※1: JR東日本の発表による。



(1) 八積駅を中心とした村内周遊の推進

八積駅周辺の再開発による駅前空間の整備や公共施設の集約化、駅の利便性向上に加えて、尼ヶ台総合公園における道の駅の設置を検討し、八積駅と結ぶ道路やサイクリングロードの整備をあわせて行います。これにより、八積駅を新しい観光拠点とした自転車等による村内の周遊名所めぐりを促進します。また、全村的な道路整備にも引き続き努めていきます。



長生村イメージキャラクター
太陽くん

発行日 平成28年3月
発行 長生村
〒299-4394 千葉県長生郡長生村本郷 1-77
TEL : 0475-32-4743
編集 企画財政課
